

●刈払機の刈刃は必ず点検を

なぜ？

1. 刈刃にヒビが入ったり、欠けたまま、刈払機を使用すると破片が飛んできて危険です。
2. 刈刃の取付ネジは、「左ネジ」のことが多く、締め付けたつもりが誤って緩めてしまうことがあります。作業前に確実に点検しましょう。

ヒヤリ、事故

1. 草刈中に、刈刃(8枚刃)が割れて飛び、足にぶつかった。
2. 草刈作業終了後、点検したら、刃の一部が欠けてなくなっていた。
3. 草刈中に、刃が手裏剣のように飛んで行った。

そこで…

対策ポイント

1. 作業前に、刈刃のひび割れや欠け等を点検し、異常がある場合には新しいものと交換します。
2. 刈刃は確実に固定します(ネジを回す方向に注意する)。
3. 取り付けした後、回り止め工具は必ず外しておきます。その他ネジの緩み等も点検します。
4. 使用中に異常を感じた場合には、必ずエンジンを止めてから刈刃等を点検します。
5. 岩、石、切り株等障害物に接触させると、刈刃が損傷することがあるので、刈刃を点検します。



さらに!

追加のヒント

1. 刈刃を取り扱う際には手袋を着用します
2. 万が一のため、予備の刈刃、工具等も作業現場に携帯します。
3. 刈刃を岩、石、切り株等の障害物に接触させると作業側側に跳ね返され刈刃と接触する恐れがあるので、刈刃を無理に振り回したり、地面に食い込ませたりしません。また、刈払機で樹木の枝を伐採するのも危険です。